

下水道事業のスピードアップを

岐阜県は平成32年までに県下全域100%の整備を目指し、各市町も下水道は最優先事業の1つとして、努力している。

池田町下水道事業の最終はいつか。自宅の浄化槽は取り付けるのも日々の経費も自前で、その上、公共下水道・農集の整備された所の分も税金で大きくお手伝いし続けているたくさんの町民の事も考え、説明されたい。又、全体事業費・残存事業費はいくらか。

38年までになんとか1年でも早くと思っている。

下水事業にもっと予算を投入しないと、今の調子では予定の平成38年度完成は難しいのではないかと。その頃、まだ事業が残っているのは当町だけということにならないか。

町長

公共下水道事業費全体で200億円ぐらい。平成20年度までに71億5200万円、うち処理場に23億円、管路整備に48億円かけた。これから120億円はかかると思う。

池田郵便局北まで第3次認可、残り全部を第4次で、平成

町長

残存事業費120億円の内、国の補助金47億円・起債60億円・町費13億円と見込んでいる。他の補助金も探していく。

維持管理費の赤字減の対策は。

町長

農集の接続率は今87%、その使用料で維持管理費の62%をまかなっている。接続率95%になれば維持管理費の90~95%まかなえる。毎年、目標数値を設定し接続率を上げる努力をしている。

事業の補助金・起債はどの位か。少しでも前倒しできたら、補助金のチャンスがあったら1日でも早く進められたい。

各種審議会の 情報公開を 町のグリーン ニューデールを

民意を聞く各種審議会はいくつ？公募委員を増やしたり、傍聴を呼びかけたりされたい。

しっかりとした計画の下、全町的に町民の記念植樹をした

町長

今44あり、検討していく。

町長

進めていきたい。

池田町公共下水道・農業集落排水事業概要図

